

2025年(令和7年)10月27日(月曜日)

ものづくり体験多彩に

秋田職能短大 学園祭「さんぷうフェス」

秋田職業能力開発短期大学校(中村雅英校長)は25日、学園祭「さんぷうフェス」を同校で開いた。ものづくり体験コーナーや模擬店を用意したほか、オープンキャンパスも同時に実施。親子連れや高校生、一般市民が訪れてにぎわいを見せた。

同短大の特徴的な教育活動の周知と認知拡大、活気づけを狙いに、学生自治会(木次谷唯冬会長)が企画運営。昨年5年ぶりに復活させ、今年は大館圏域産業祭が休止となったこともあり、内容を充実させた。

ものづくり体験教室は生産機械技術、電子情報技術、住居環境3学科の特色を生かし

て7コーナーを設置。木製の本立てや箆、ゴム鉄砲の製作や、ロボット操作、ミニ鉄道の乗車などが体験できる多彩な内容とした。

親子連れの姿が目立ち、子どもたちは真剣な表情で木材を加工したり、ロボットを操作したりして楽しんだ。



模擬店では学生が焼き鳥やたこ焼き、パンケーキ、ポップコーンなどを販売した。木次谷会長は「昨年と比べて多くの人が来てくれてうれしい。職短を多くの人に知ってもらえれば」と話した。

ロボットの操作を体験する子ども(秋田職能短大)